

事務事業名	楡形総合公園整備事業(単独) ☐ 実施計画事業		所属部局	建設部		単位番号	7069								
			所属課室	都市計画課		課長名	新津 元博								
			所属担当	都市整備担当		担当者名	中島 司								
基本政策	基本計画体系 Ⅲ 13 21	うるおいと利便性のある都市づくり 都市空間の整備 安らぎ空間の整備	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
			01	一般	0	8	0	4	0	3	0	5	0	0	5
政策															
施策															
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (18 ~ 22 年度)		法令根拠	都市計画法、都市公園法											
事業概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (22年度)												
			項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)						
			工事請負費		22,642										
			原材料費		1,197										
			補償費		161										
						計				24,000					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	
22年度活動実績	公園整備工事
23年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民 公園利用者	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
市民が快適に安らぐことのできる公園の整備を行う。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
広域防災拠点、避難場所としての役割を持つ、防災公園として整備を行い、市民が安心して快適に安らぐことのできるようにする。	

⇒ ⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 楡形総合公園の整備面積	ha
イ	
ウ	
⇒ ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 楡形総合公園の全体計画面積	ha
イ	
ウ	
⇒ ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 楡形総合公園の整備率	%
イ	
ウ	
⇒ ⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 公園や子どもの遊び場に関する住民の満足度	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円	300	22,800					
			その他	千円							
			一般財源	千円	33	1,200					
		事業費計 (A)	千円	333	24,000	0	0	0	0	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	2	2					
			延べ業務時間	時間	300	100					
			人件費計 (B)	千円	1,338	446	0	0	0	0	
			(A)+(B)	千円	1,671	24,446	0	0	0	0	
活動指標			アイ	ha	13.0	16.0					
			ウ								
対象指標			アイ	ha	16.0	16.0					
			ウ								
成果指標			アイ	%	78.0	100.0					
			ウ								
上位成果指標			アイ	%	31.0						

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成18年度～22年度の期間事業として、楡形総合公園の充実を目的として、まちづくり交付金事業で実施された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	公園の使用頻度は年々増しており、防災公園としても期待されている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	近年、多くのイベントがこの公園を使用して実施されているが、駐車場が少なくて困っている。こんなかい274台の増設が見込まれるので喜んでい。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容！】 ☒ 取り組みしていない ⇒【理由！】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	当初、武道館、デニス場の整備を予定していたが、近隣に類似施設があることから、中断せざるを得なくなりその用地を多目的広場として当面使用することとした。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	楡形総合公園整備事業(単独)	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 市の施策体系である安らぎ空間の整備として、総合公園を防災公園の避難場所としての役割を十分果たせる様に整備を行っている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 防災的な役割を果たす総合公園は、公共が関与して当たり前だと考えられる。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 将来、防災公園としての位置付けを見据えて整備しているため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 目的がしっかりしているため。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 市の中心的な防災公園である。 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 防災公園としての位置づけが出来なくなる。 ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市の中心的な防災公園である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 整備を行うに当たり、贅沢品は使用せず、標準的なものを使用する。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 技術職がいなければ、監督が出来ない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市の中心的な防災公園である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	厳しい財政状況により事業費が圧縮され、当初計画にあった武道館及びテニスコート等施設整備が見送られたが事業期間内に整備を終了することができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☒</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☒																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①整備の内容を精査し、コスト削減に努める。		(5) 事務事業優先度評価結果																						
②		成果優先度評価結果	終了事業																					
③		コスト削減優先度評価結果	終了事業																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策																								
①市内外の公園を研究し、施設配置に役立つように心がける。																								
②																								
③																								